

令和5年度 医療安全委員会 活動報告

■委員名	<p>委員長：西山眞佐子</p> <p>副委員長：渡邊真二</p> <p>委員：谷井奈保子・上畑克哉・永井美裕貴・長田幸美・中村美津・長濱 幸 松下佐智子・北野 貞</p>
■開催回数	6回
■活動目標	<p>1. 兵庫県内の医療・看護の質の向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。</p> <p>2. 各支部間での連携を図り、医療安全管理活動に取り組む。</p>
■活動内容	<p>1. 医療・看護の質の向上と安全を推進し、医療安全に携わる人への支援を行う。</p> <p>1) 出前講座研修の実践と広報活動について</p> <p>(1) 出前講座の実践</p> <p>①令和5年11月17日 関西青少年サナトリウム KYT 実践研修(転倒転落について)</p> <p>②令和5年11月30日 神戸博愛病院 KYT 実践研修(認知症をテーマに)</p> <p>③令和5年12月19日 明海病院 KYT 実践研修(患者誤認をテーマに)</p> <p>④令和6年2月9日 アネックス湊川ホスピタル KYT 実践研修 (認知症患者の事例)</p> <p>⑤令和6年2月29日 平島病院 KYT 実践研修(転倒転落、与薬について)</p> <p>⑥令和6年3月8日 関西労災看護専門学校 KYT 実践研修</p> <p>(2) ポスターの見直し、広報活動について協議</p> <p>①ポスターのデザインを見直し、受付、申し込み期間を明記</p> <p>②看護協会の会員向けの定期発送にポスターを同封する。</p> <p>③支部の委員会、民間病院協会、看護協会で開催される研修会でポスターを配布</p> <p>④看護協会のホームページに掲載</p> <p>2) ホームページ「医療安全委員会だより」の活用について 支部研修、出前講座など研修報告、トピックスを掲載する。</p> <p>3) KYT 研修のオンデマンド化等の試作考案について、委員会で検討</p> <p>2. 各支部間での連携を図り、医療安全管理活動に取り組む。</p> <p>1) 各支部の医療安全の現状と研修予定、内容を報告し、共有している。</p> <p>2) 研修に伴う困難ごとや質問等を、協議している。</p>
■活動の評価	<p>出前講座については、昨年度が2件であり、コロナ流行の影響も考えられるが、依頼が少なかった。今年度は出前講座を県内に広めようと広報活動から協議した。ポスターを見直し、各支部・研修会で配布、ホームページに掲載した。結果、依頼件数は7件あり、広報活動の効果があったと考える。依頼の都度、メールまたは委員会内での審議と依頼施設との調整を経て、受諾し実施したのは6件であった。研修は、既存原稿のKYT研修資料、依頼施設からの依頼内容、担当した講師の新規作成資料等により実施した。終了後にはアンケートを実施し、その結果から「説明が分かりやすく理解出来た」「危険を予測して対策を立てれた」等の意見があり、有意義な研修であったと考える。</p>

	<p>また、ホームページ「医療安全委員会だより」に支部研修、出前講座研修報告をあげ、情報の提供、共有できたのではないかと考える。一方、KYT 研修のオンデマンド化については、出前講座の依頼件数が増えたことで、十分な検討には至らなかった。</p> <p>支部との連携については委員会で情報を共有し、各支部の研修会を案内して支部を超えての参加を募ることができた。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>出前講座は、依頼件数が増加し自施設で研修が困難なところの支援にも繋がっているため、継続していきたいと考える。県内で活用していただくためにも、次年度も広報活動を強化し、オンデマンド化等負担無く続けられる体制作りも検討する必要がある。</p>